

初体験から半年後の姉と弟





性行為を
覚えてしまった
姉と弟の
その後



あとり
秋尚



「…ん
お姉ちゃん」

「あっ起きちゃった？」

「ちよつと待ってね
ちやつちやと済ませるから
おちんちんだけ使わせて」

ぬちゅ

「うん いい…よ…く…」



「ああやっぱり
朝するのが気持ちいい」

「もう絶対
すつきりしてから
朝練に行くのが
日課になってるよね
…あ… イキそう…」

「すごい昨日の夜
あんなにやったのに
ちやんと今朝も
硬くなってる」

ぬちゅ

ぬちゅ

ギッ
ギッ
ギッ



「あ……」

どひゃ
どひゃ

どひゃ
どひゃ

「いいよ出して
お姉ちゃんも
もう……す……ぐ……」

「あっ」



「……お お姉ちゃん」

「みのるも
イクの？」

ギ……

お姉ちゃん
お姉ちゃん
お姉ちゃん

「う……うん
出ちやいそう」

「いいよ出して
お姉ちゃんも
もう……す……ぐ……」



「はん…ん…
ああ〜…」

「…んん」

「あまみのる
すごい出てる…」

びゅん

びゅん

びゅん

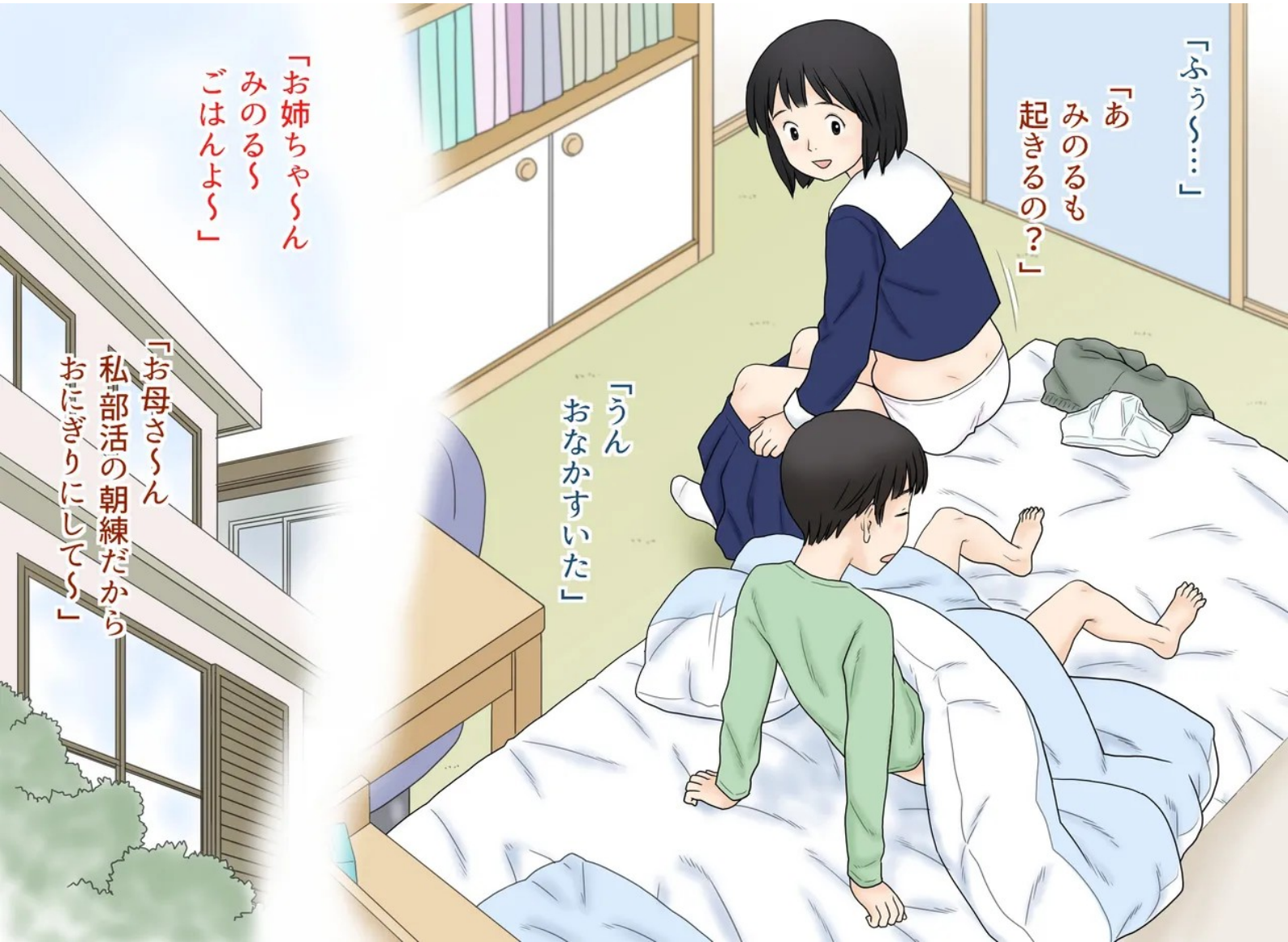
「ふう〜…」

「あ
みのるも
起きるの？」

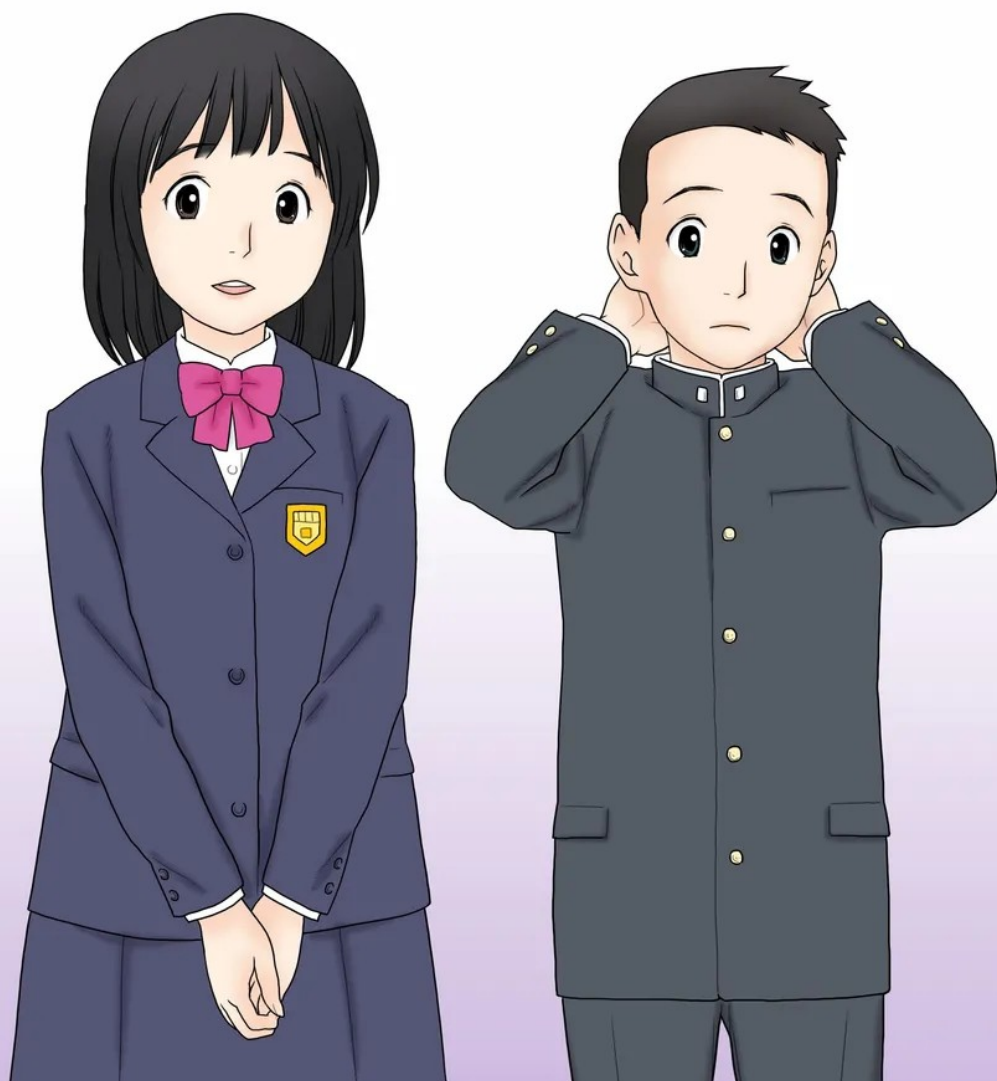
「うん
おなかすいた」

「お姉ちゃん
みのる
ごはんよ〜」

「お母さん
私部活の朝練だから
おにぎりにして〜」



初体験から2年後の姉と弟



「今日お父さんたち
帰らないのよね」

「うん
法事の手伝いとかで
帰るのは明日の夜だつて」

「じゃあ二人で留守番かある」

「ねえみのる
久しぶりに一緒にお風呂
入ろつか」

「なに？」

「お風呂？
いいよ」



「姉ちゃん
おっぱい大きく
なった？」

「みるるだつて
身長すごい
伸びてない？
お姉ちゃん
抜かれそう」

「姉ちゃんなんか
時間の問題だね
ぶつちぎるから」

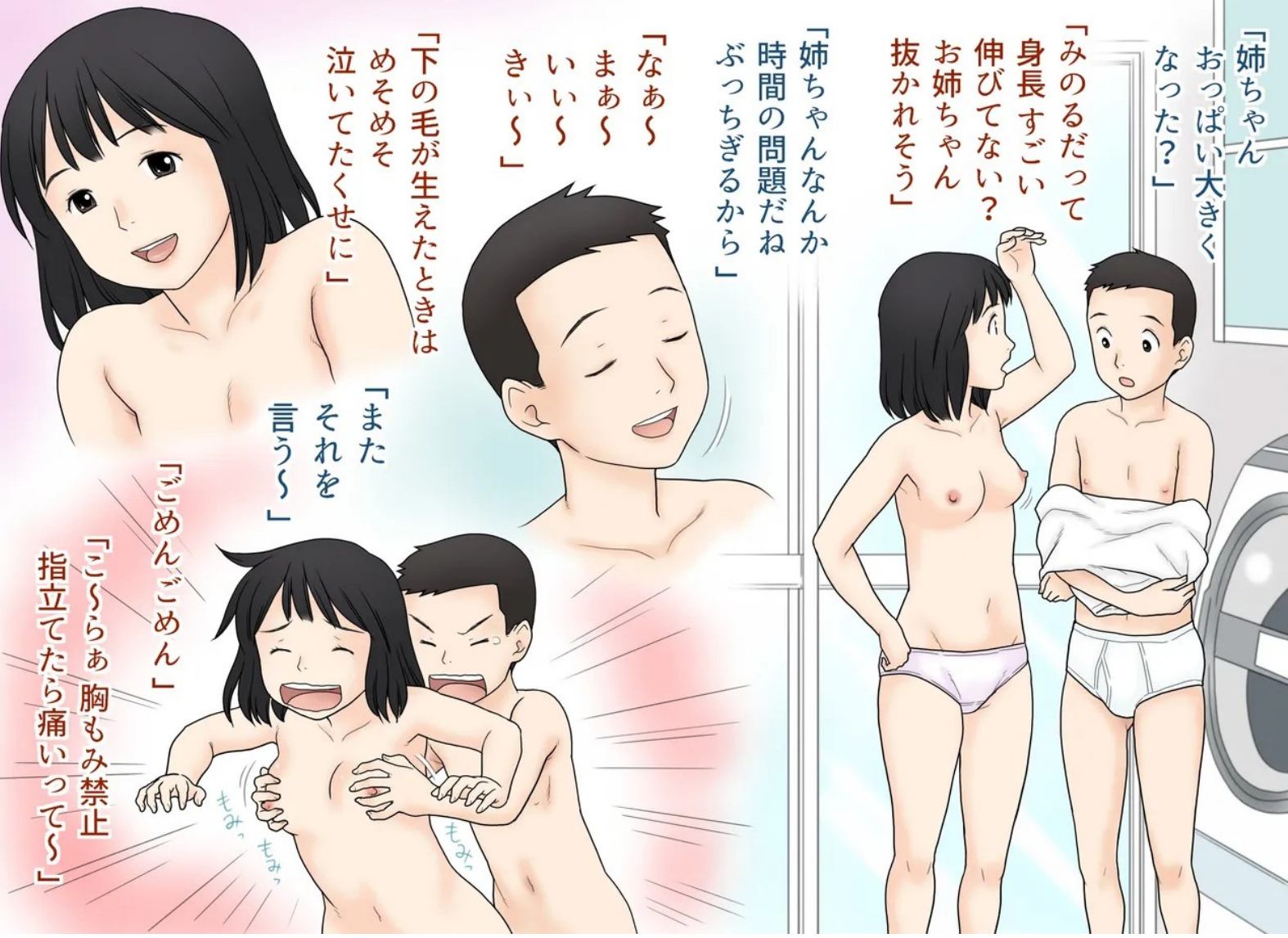
「なあゝ
まあゝ
いいゝ
きいゝ」

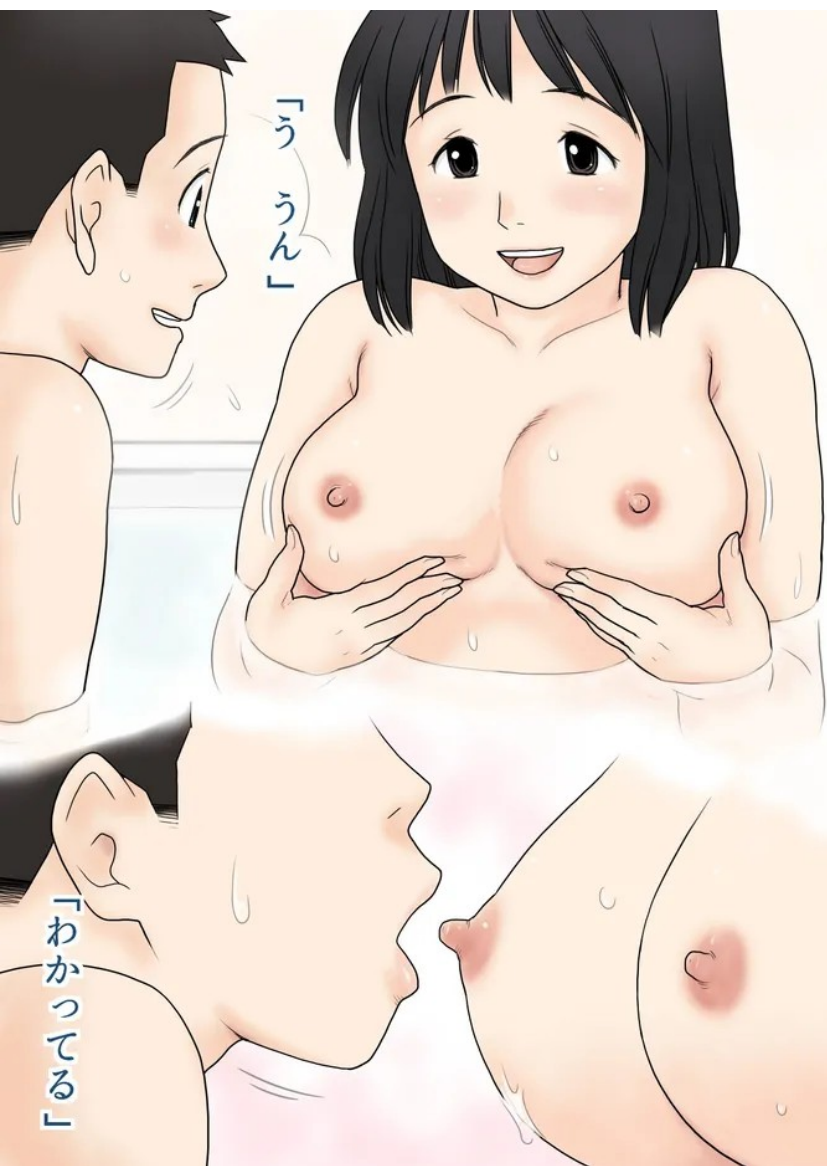
「下の毛が生えたときは
めそめそ
泣いてたくせに」

「また
それを
言うゝ」

「ごめんごめん」

「こゝらあ 胸もみ禁止
指立てたら痛いつてゝ」





「うん うん」

「わかってる」

「はいはい
さつきからずっと見てるよね
いいよ吸っても」

「かまないでね」



「本当に久しぶりだね
二人で入るの」

「う…うん」



「もっと強く
吸ってもいいよ」

「ん…」

「ねえみもの
おっぱい
吸いながら
おちんちん
入れて…」

ちゅっ

「んっ…」

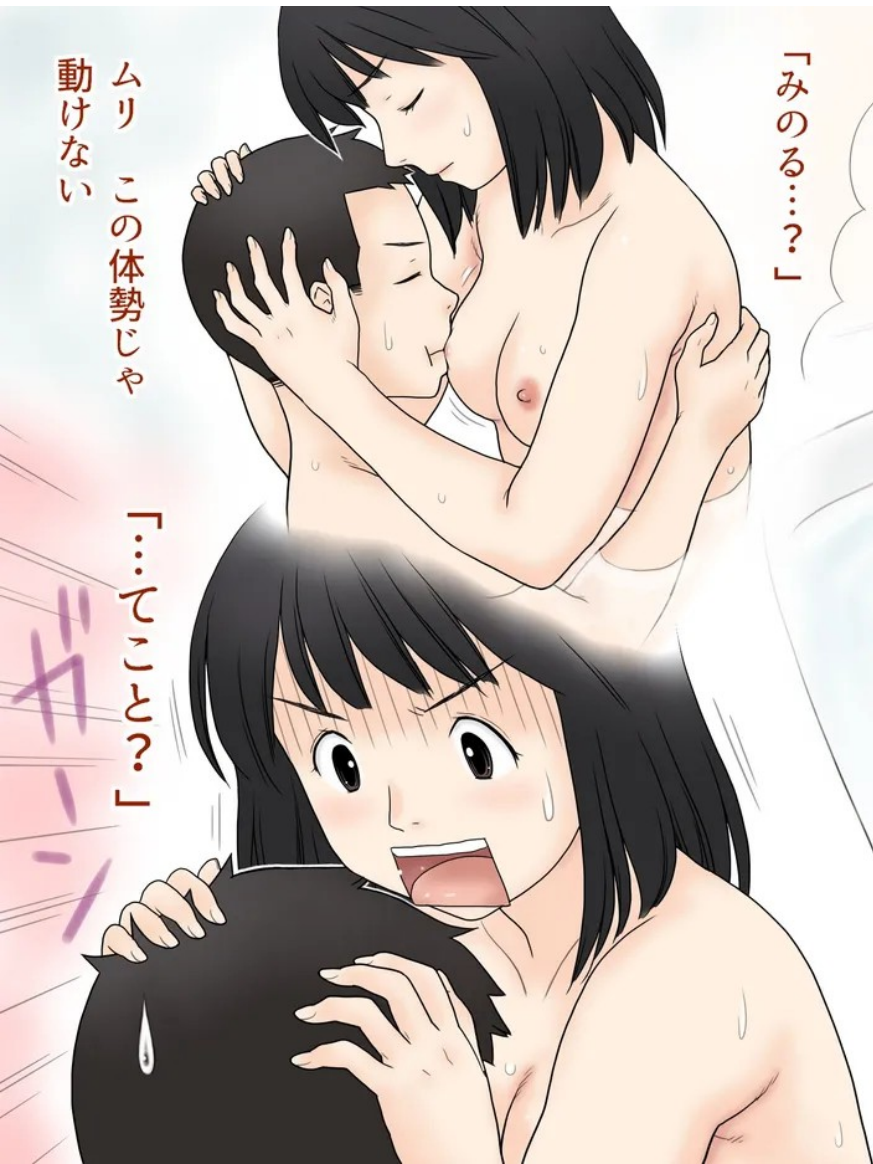
「そうそこ
当たってる…」

「んっ…」

ぬちっ

ぬっ

「ああ…」



ムリ この体勢じゃ
動けない

「…てこと？」

「みる…？」

「んっ
んっ…」



「乳首吸われながら入れるのって
気持ちいいかも …みる
腰振って…」



ヌチュヌチュ

「んっん…」

「悪くない？」

「じゃあこんなのは？」

「ん！」

「んっ」

「じゃあ」

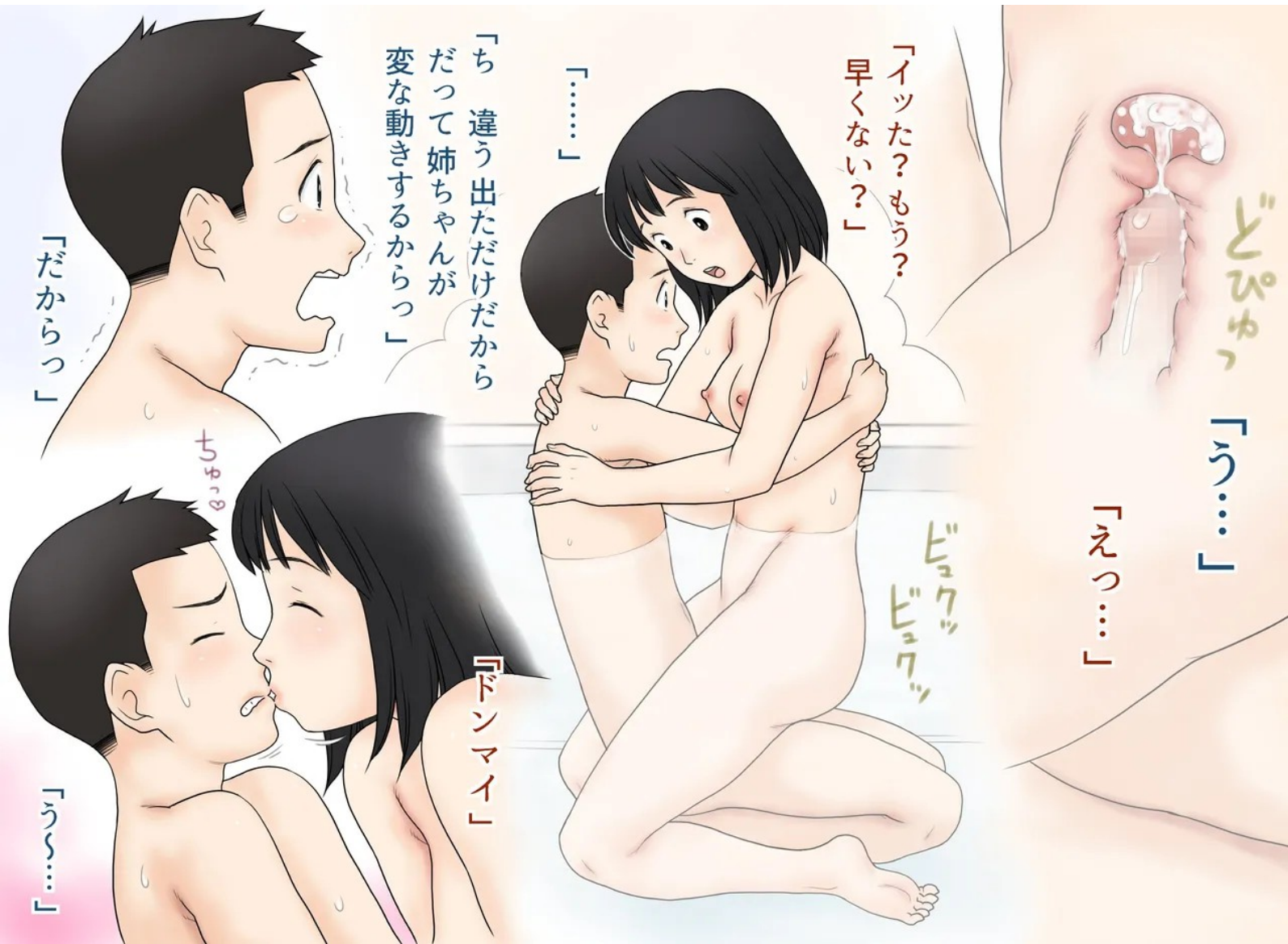
「さらに…」



「仕方ない
お姉ちゃんが動くよ」

「んん」

「上下はムリっぽいから
横に動くって感じかな？」



「イッた？もう？
早くない？」

「……」

「ち 違う出ただけだから
だって姉ちゃんが
変な動きするからっ」

「だからっ」

ちゅゅ

「ドンマイ」

「……」

ビュクッ
ビュクッ

どぴゅっ

「うっ……」

「えっ……」

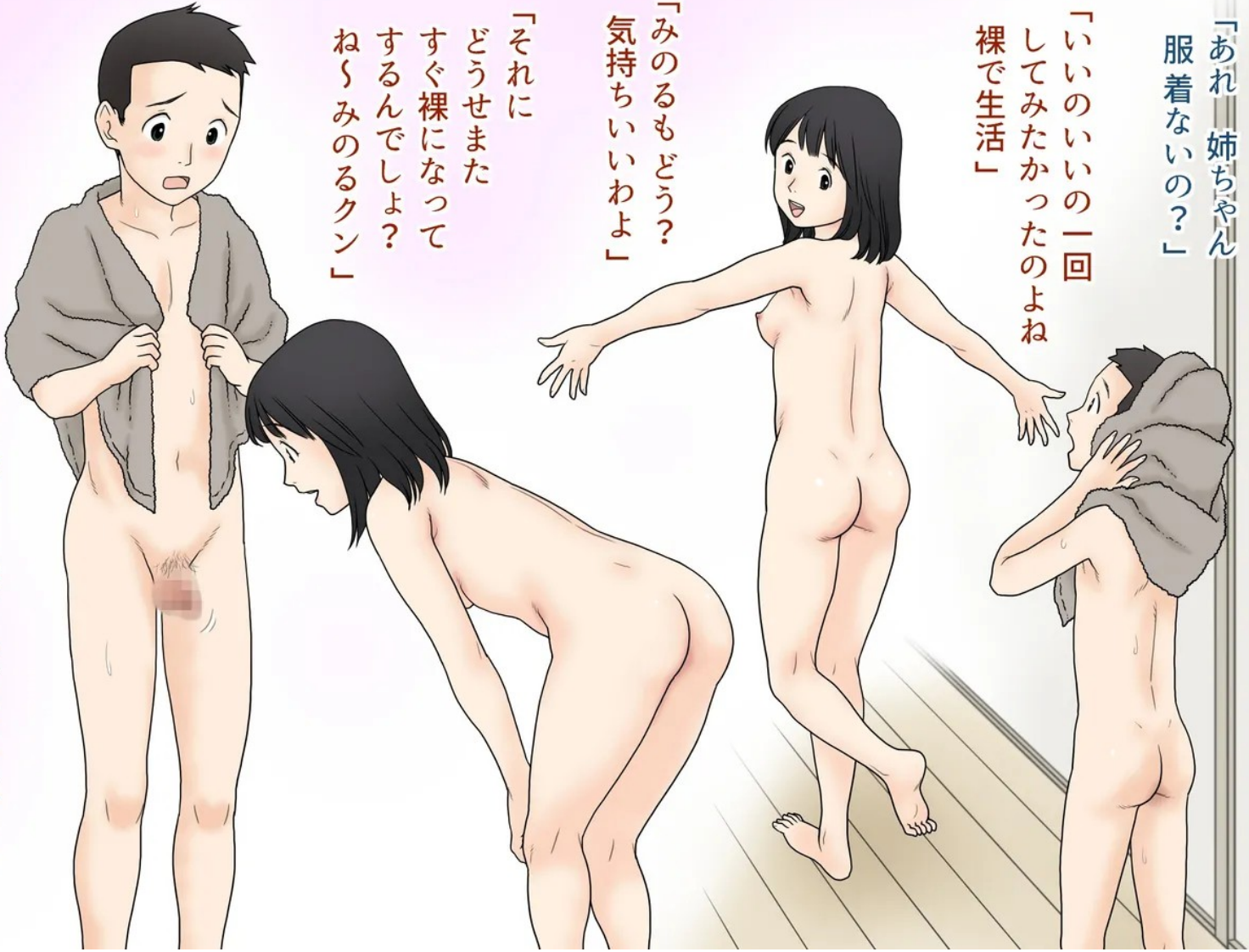
「あれ 姉ちゃん
服着ないの？」

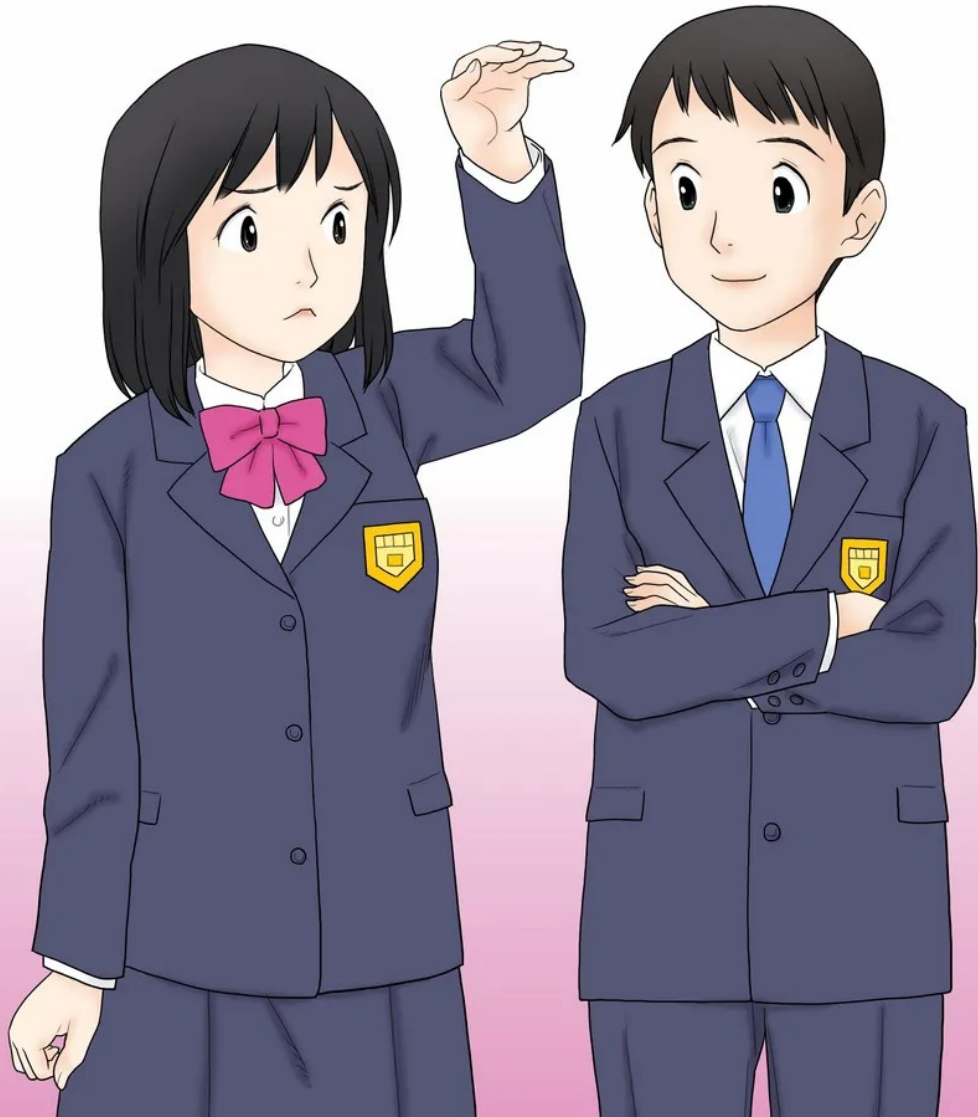
「いいのいいの一回
してみたかったのよね
裸で生活」

「みるもどう？
気持ちいいわよ」

「それに
どうせまた
すぐ裸になって
するんでしょ？
ねーみるるクン」

「どこに話しかけてるんだよ」





初体験から4年後の姉と弟

「あのさく姉ちゃんと同じ部に
僕のクラスの男子が
何人かいるんだけど
いろいろ聞かれるんだよな
彼氏いるのかなとか
家でどんな感じ?とか」

「変なこと

言っていないでしょうね」

「言っていないけど:

でも姉ちゃんつて

意外ともてるんだなつて

思つて...」

「みるだつて

ももての

くせに」

「えっ」

「今年のバレンタインデー
チョコ2つももらったんでしょ?」

くちゅ

くちゅ



「チヨコ2つって姉ちゃんと母さんだし」

「わああ〜っ」

「ひッ」

「ちよ
ちよつとみる
乱暴に突かないでっ
奥に当たってる」



「こうなつたら奥の手
負けないわよっ」

「んっ」

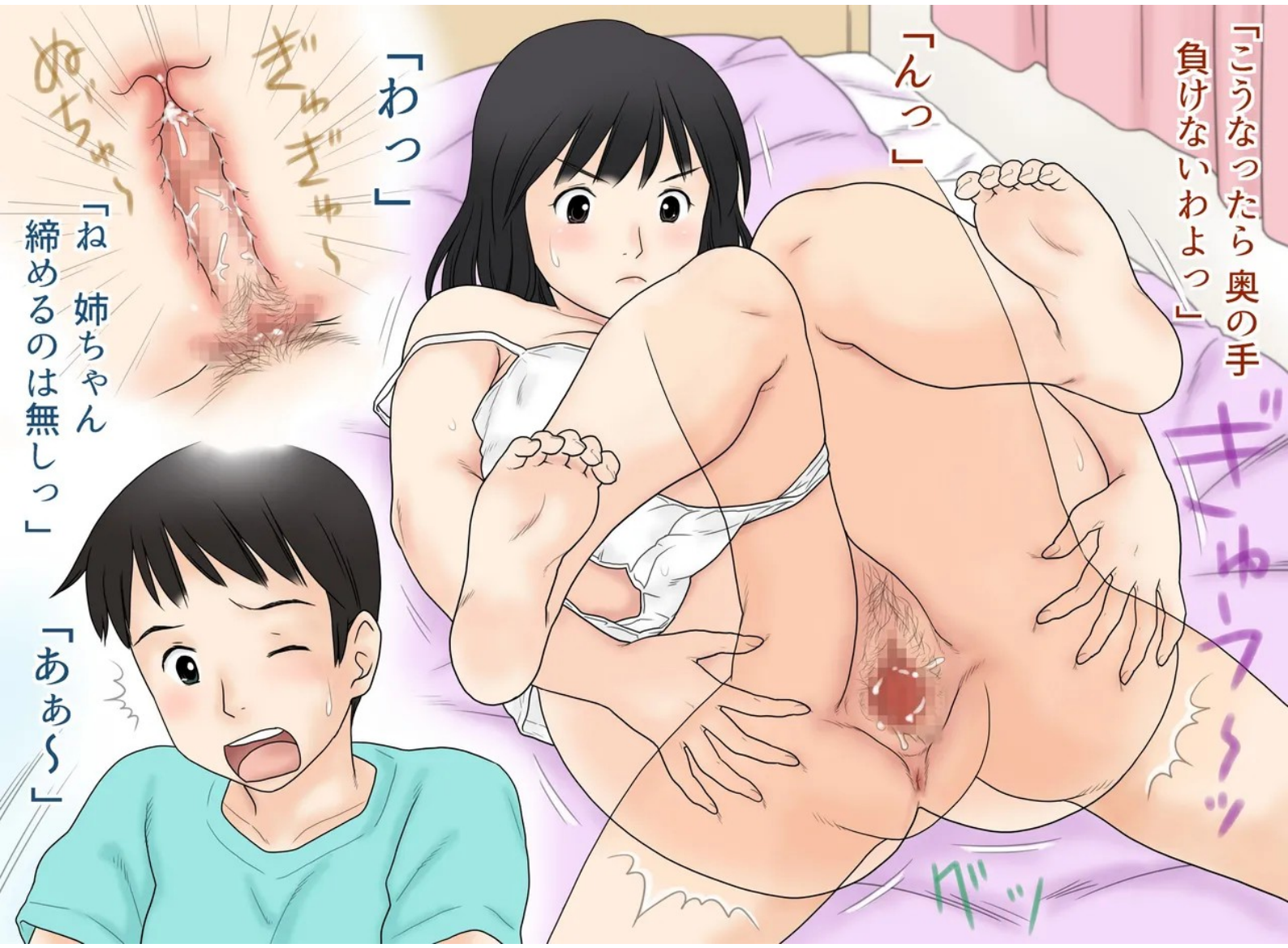
「わっ」

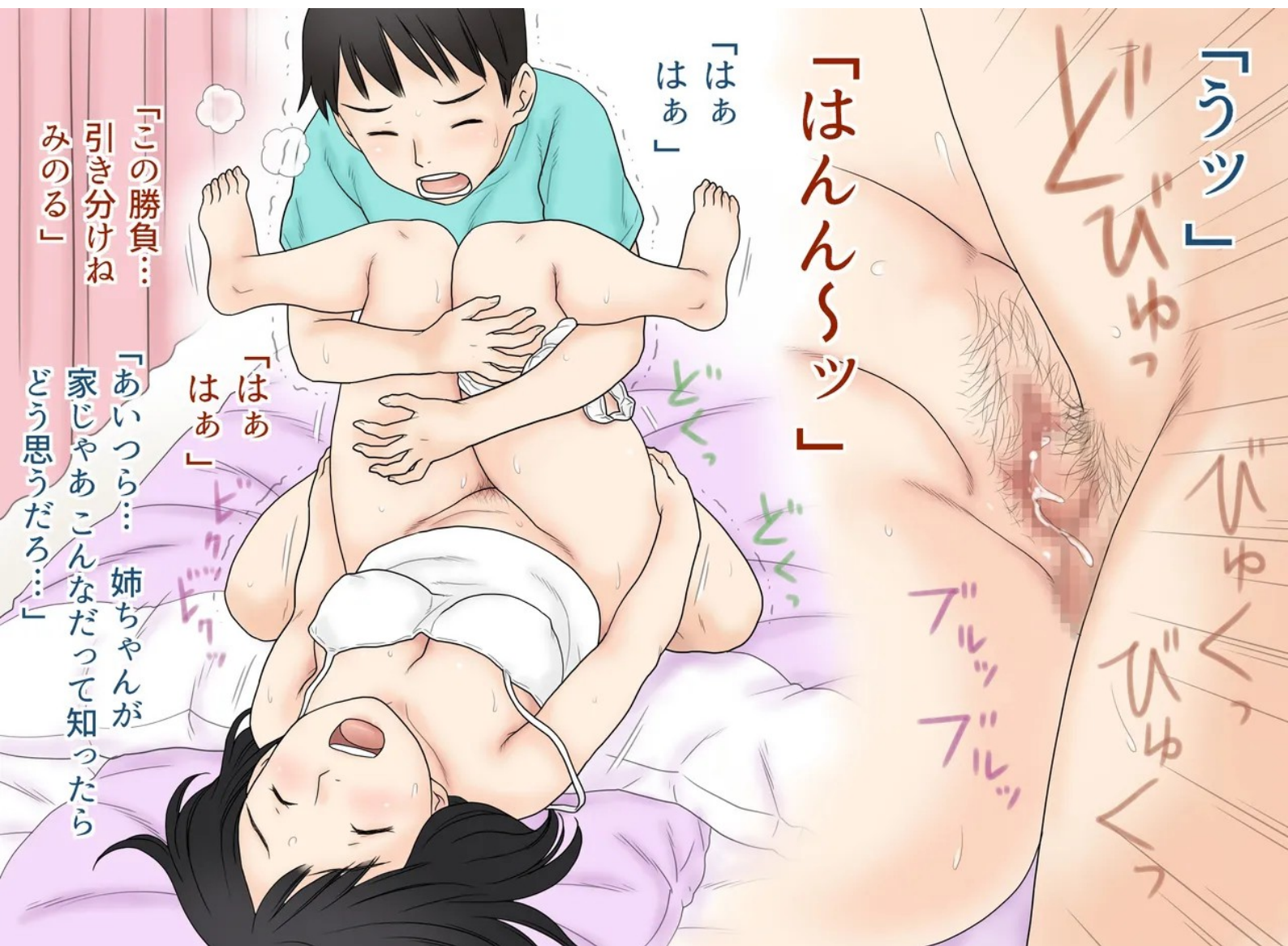
ぎゅぎゅ

ねちゃん

「ね 姉ちゃん
締めるのは無しっ」

「あぁ」





「はんんッッ」

「うッ」

「はあ
はあ」

「はあ
はあ」

「この勝負…
引き分けね
みのる」

「あいつら… 姉ちゃんが
家じゃあこんなだっけ知ったら
どう思うだろ…」

どぐ
どぐ
どぐ

どぐ
どぐ

ブルッ
ブルッ

びゅく
びゅく

びゅく
びゅく

初体験から6年後の姉と弟





「正月ぶりの里帰り」

「あれ？姉ちゃん
なんで？」



「みるる
ただいまあ」

ガチャ

「お母さんたち 旅行中なんですよ？
みのるがさみしがってるんじゃないかと思ってるね」

「冗談はいいから
どうしたんだよ」

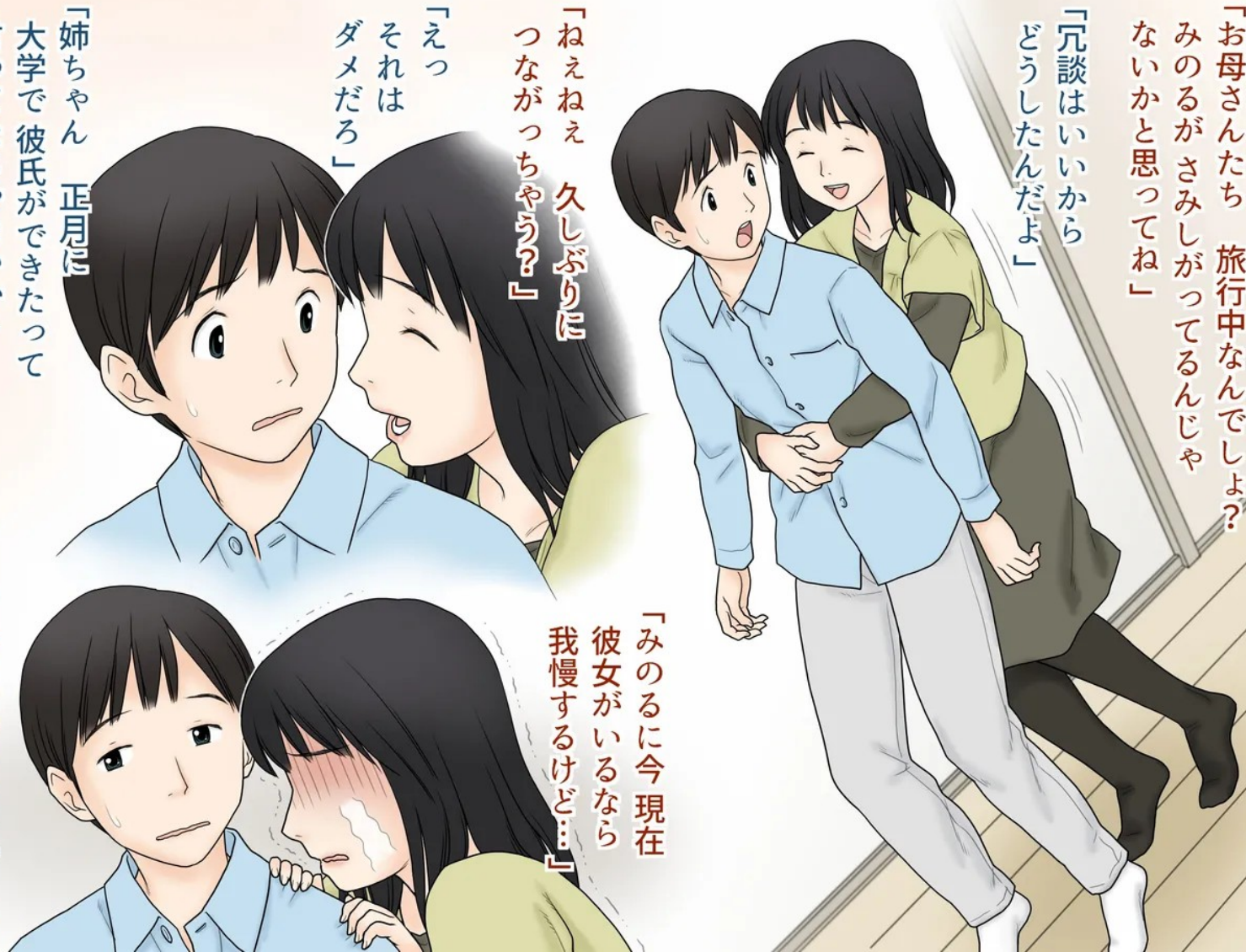
「ねえねえ 久しぶりに
つながっちゃう？」

「えっ
それは
ダメだろ」

「姉ちゃん 正月に
大学で彼氏ができたって
言ってたじゃないか」

「みのるに今現在
彼女がいるなら
我慢するけど…」

「そういうことか…」





「ね 姉ちゃん なにそれ」

「舌とかクチの使い方が
すごいんだけどっ」

れろっ
れろっ

ちゅばっ
ちゅばっ

「じゃあ
入れるわね」

「入れるって
後ろ向きで？」

「ふふっ」

「ね 姉ちゃん
どうしたの？」



「さあみのるクン
パーティーの
はじまりだよ」

「ぽ…
パーティー」

「わっなに
この動き」

「次はこれ」

「えっ」

むにゅ

むにゅ

「ね 姉ちゃん
タマもんでる？」

「ふふっ

みのるのおちんちんがひくついている」

「出るときは言っておね

今日は

危ない日だから」

「えっ いや

だったらもう

やばいっ」

ガクッ

もみ、

ガクッ

もみ、

「タマをもむとか

ありえないし

いつ出るか

わかんないって」

「ギブアップ？」

「ギブッ

ギブだからッ」

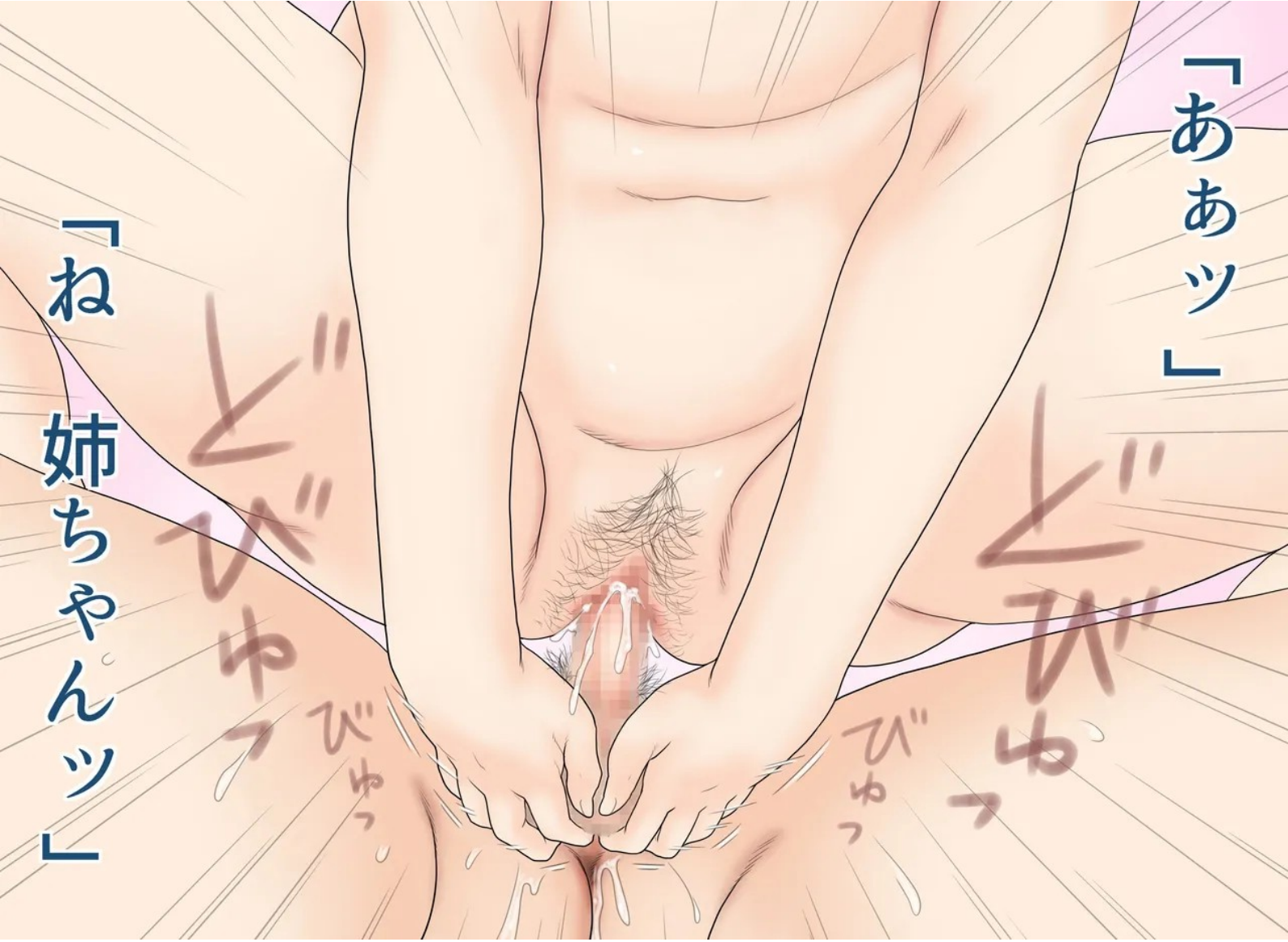
ドクッ

ドクッ



「ああッ」

「ね
姉ちゃんッ」





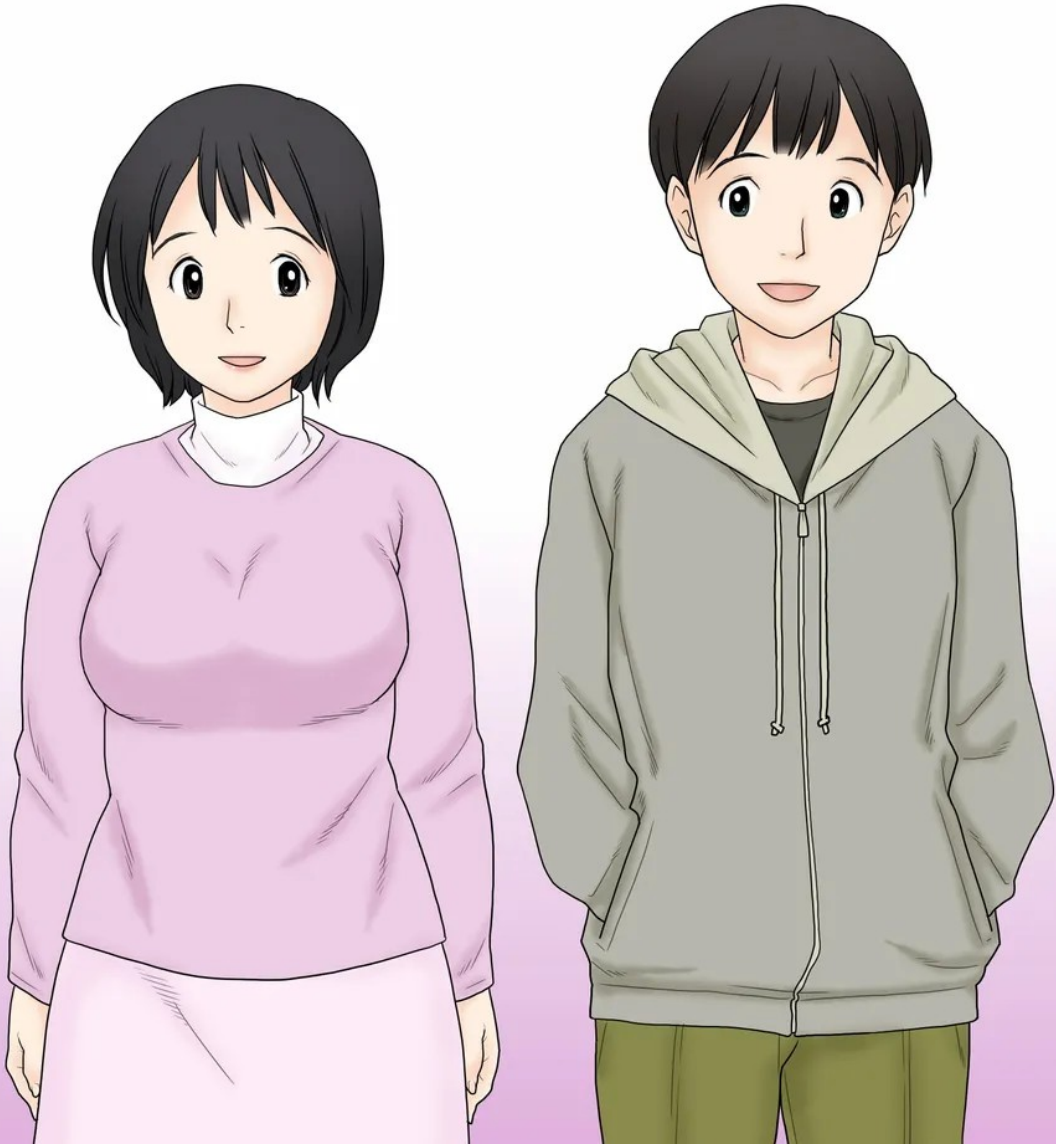
「わっ
わ…」

「ふふっ
みゆるのその顔」

「冗談よ
今日は
安全日だから
全部出しちゃって」

「…姉ちゃん
都会に行つて
変わったな…」

初体験から8年後の姉と弟



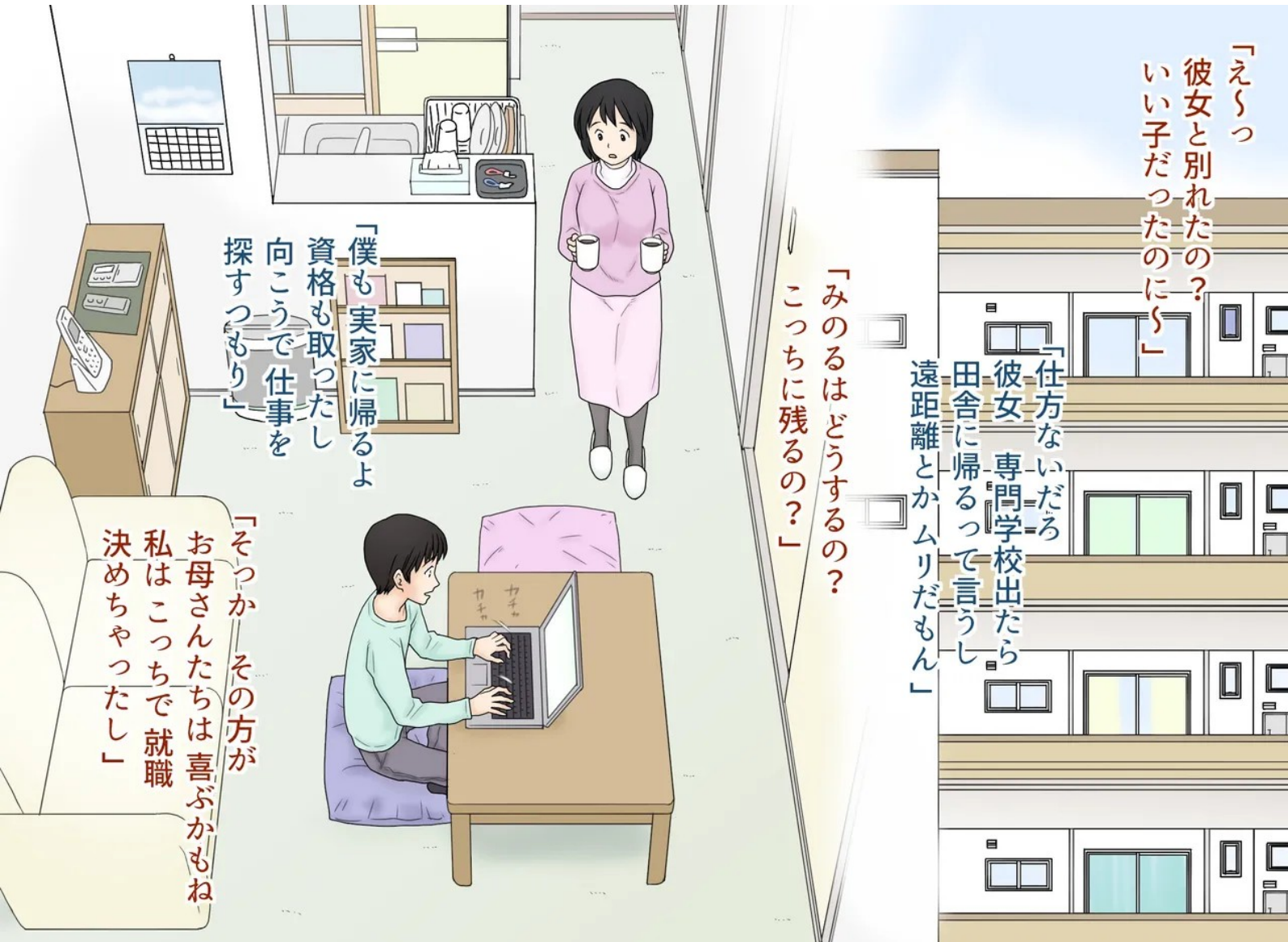
「えっ
彼女と別れたの？
いい子だったのに」

「仕方ないだろ
彼女 専門学校出たら
田舎に帰るって言うし
遠距離とかムリだもん」

「みるはどうするの？
こっちに残るの？」

「僕も実家に帰るよ
資格も取つたし
向こうで仕事を
探すつもり」

「そっか その方が
お母さんたちは喜ぶかもね
私はこっちで就職
決めちゃったし」



「あゝあ
みのが帰っちゃうと
またひとり暮らしに
逆戻りね」

「また彼氏でも
作れば？」

「そろねろ…」

「…でもその前に…
久しぶりに お互い
ひとり身になったわけだし…」

「ん？」

「しよっか」



「みのる
ゴムある？」

「無いけど…
外に出すよ」

「つていうか

「始めの頃って
ずっと生だし
中に出してたよね」

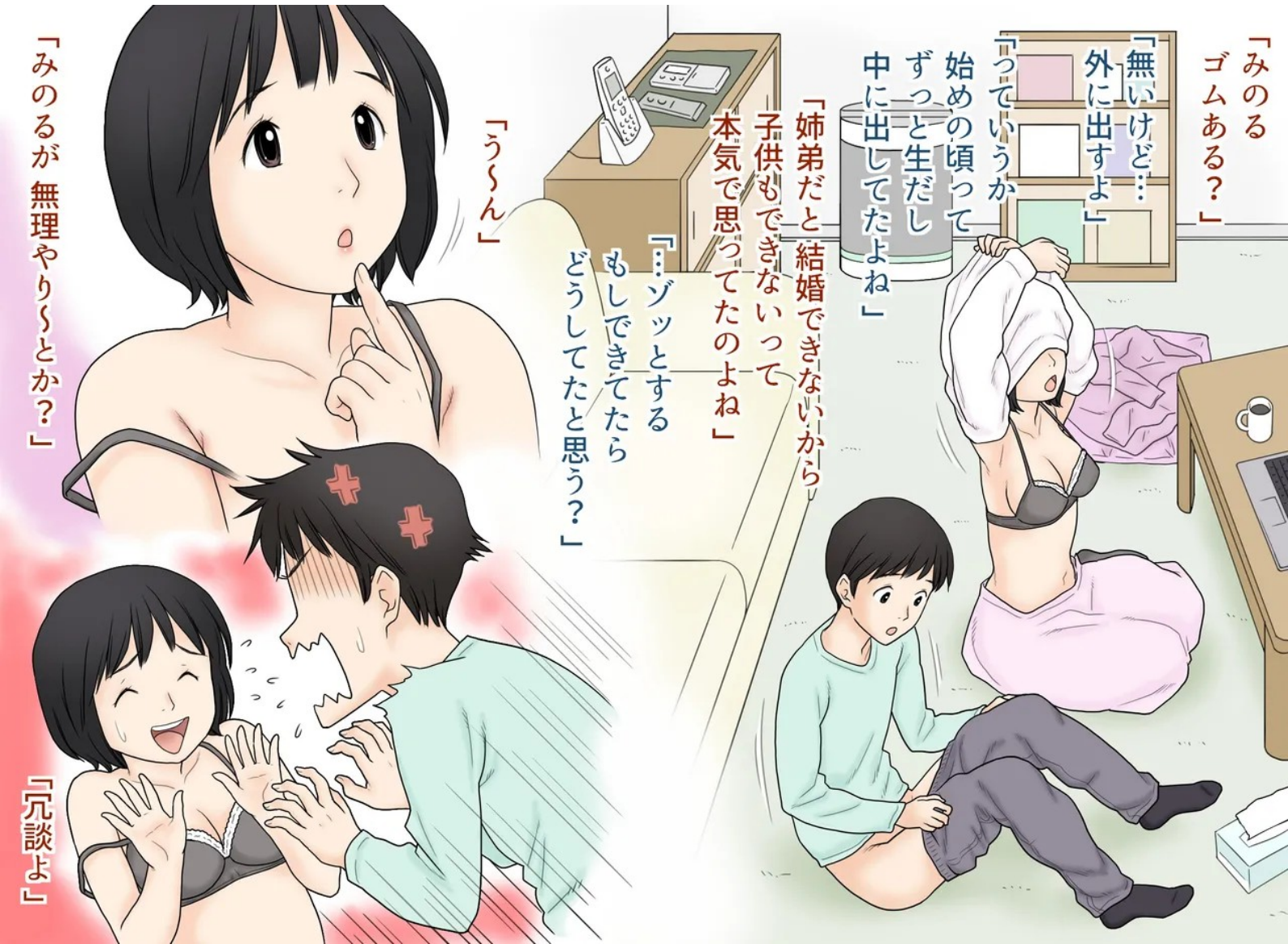
「姉弟だと結婚できないから
子供もできないって
本気で思ってたのよね」

「…ゾツとする
もしできてたら
どうしてたと思う？」

「うん」

「みのるが無理やりとか？」

「冗談よ」



「入れるよ
姉ちゃん」

「みのもとつながるのうって
一年ぶりくらい？」

「うん

たぶん

そのくらい」

「あ…」

「入った」

ぬぬぬ…

「ああ この感じ…
なんだか懐かしい気持ちに
なっちゃう…」



「はじめてのときこうやって
つながってる部分を
一緒に見たよね」

「覚えてる」

「みるのおちんちんに
毛が生えはじめた頃ね」

「姉ちゃんのだって
ただの割れ目
だった頃だよ」



「もう二人とも
すつかり大人の性器ね」

「んっ…」

「んっ…」
「みる…」

ぬぶっ

ぬぶっ

ズ
ブ
ブ
ッ

ズ
ッ



「あゝ
やっぱり姉ちゃんのが
一番気持ちいいっ」

「うん お姉ちゃんも
みのるのおちんちんが
一番ぴったりくるっ」

「やっぱり姉弟だから
相性がいいのね」



「ね 姉ちゃん
とまらないッ」

「とめないでッ」

「みのるの
おちんちんを
お姉ちゃん
中でもっと
感じさせてッ」



「あ ああ
みのるっ イツちやうう」

「ぼ 僕もイキそう
ぬ 抜くよッ」

「だめ
もうちよつと
もうちよつとだから」

「えっ
姉ちゃん」

「あ
足ッ」

「ぎゅん
ん」

「ぬほ、ぬほ、ぬほ、
ぬほ、ぬほ、
スポッ スポッ
ぐい、ぐい、



「はあ
はあ」

「姉ちゃん
出てるっ」

「ぶるん
ぶるん」

「はっはっ
はっはっ」

「どくどく
どくどく
どくどく」

「いいいから
もっとお
あーっ
みーるの射精
本当に
気持ちいいっ」

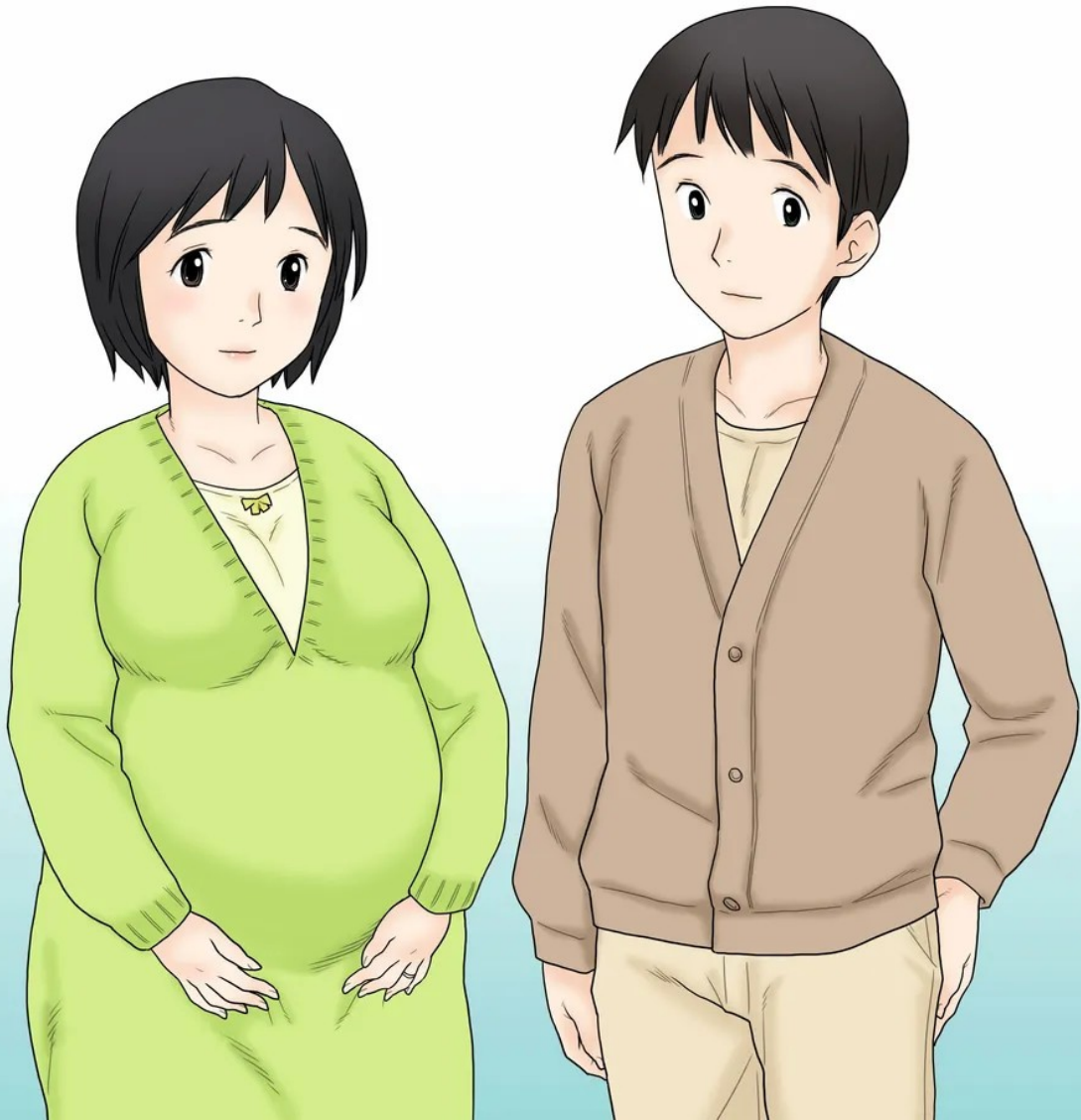
「姉ちゃん…」

ぬほ^ん
づ^んづ^ん

ゴ^ん
ッ^ん

「みる…」





初体験から10年後の姉と弟…

エピソード（弟）

実家に戻った僕は
新しい仕事と彼女に恵まれました…

…そして彼女との結婚を前に
ある検査を受けたのです



「あなたの精子は正常です」

「ほっ…」

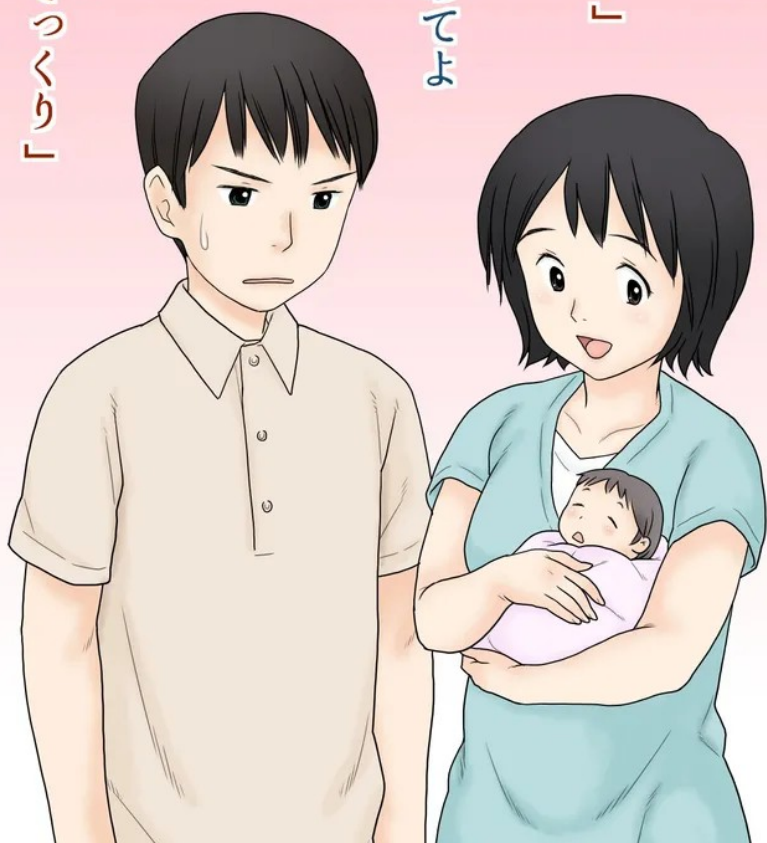
エピソード（姉）

みのるが実家に戻った後
おつきあいをはじめた年上の彼と
結婚して間もなく妊娠…
無事元気な赤ちゃんを出産しました

「はい
本当のパパ
でちゅよ〜」

「冗談はやめてよ
姉さん」

「冗談？
でもほら
鼻の形とか
みのるにそっくり」



「えっ ……って
僕と姉さんの鼻が似てるんだよ
姉弟なんだから」

性行為を覚えてしまった姉と弟のその後



お買い上げありがとうございます

最後の最後まで

エピローグを入れるか入れまいか
悩みまくりましたが入れちゃいました

この姉弟には深刻な感じは似合わないかな
と思ったので…



完



あと秋尚